

医療の  
現場から

## 「どんな病気も同じですが症状のわかりにくい糖尿病は 簡単な血液検査からまず行ってください」

糖尿病専門医の山田記念病院東儀宣哲副院長にインタビューさせていただきました。

### ■糖尿病って怖い病気ですか？

現代病、ぜいたく病と思われる面がありますが、実はエジプト文明の時代から、日本では平安時代から記録があり、たいへん古くからある病気です。両親や兄弟姉妹に糖尿病が出ている方、食事の量が多い方はリスクが高くなります。「尿の中に糖が出る病気」と思われがちなのですが、本当の問題は血液中に糖分が残ることです。糖分が血管に悪影響を与え、それが合併症の原因になります。神経、網膜、腎臓の病気に進行しやすく、神経では知覚の異常のほか、自律神経に影響が出ると心臓や呼吸の異常で突然死を招くこともあります。網膜では最悪のケースで失明、腎臓では透析を受けることによって生活の質が大きく下がってしまいます。

### ■自分で糖尿病になっているとわかりますか？

自己診断での早期発見はできません。のどが渇く、尿が近くなるというのが一般的な自覚症状とされて

いますが、これが出ない人も多くいます。骨折で受診して発覚したり、見え方が何かおかしいと眼科に行って糖尿病と診断されたり、身体のだるさを歳のせいと書いていたら実は糖尿病だったりとといったケースが多くあり、非常に病名を自覚しにくいです。

このため診断された時にはインスリンの働きがすでに半分から1/3程度まで落ちていることが多く、早期発見、早期介入が非常に重要です。

### ■健康診断で引っかからなければOKですか？

健康診断で測る血糖値は、他の内臓の検査などの関係で空腹時の場合が多いのですが、糖尿病の初期段階では空腹時ではなくまず食後の血糖値の変化に異常が出ます。健康な人は食後2時間程度で食前の値まで下がりますが、糖尿病になると食後の血糖値の下がり方が健康な人に比べて遅くなっていきます。空腹時の値に異常が出るのは、食後の値の悪化がかなり進んだ後になりますので、健康診断で血糖に異常がない、あるいは少なくとも、糖尿病が進行し

ていないとは言い切れません。

### ■糖尿病の早期発見のためには？

早期発見のポイントは、食後の血糖値の変化を検査することです。健康診断や他の検査で血液検査をする場合、支障が無ければ食後1時間程度の血液で測ってもらうと糖尿病の発見につながるがあります。より確実なのは、糖尿病のチェックのためと目的を明確にし、食事時間と検査時間を設定して血液検査を行うことです。山田記念病院でもこうした糖尿病に特化した検査を行っていますので、ぜひ積極的にご活用いただきたいと思います。



山田記念病院 東儀宣哲副院長

1954年広島生まれの東儀副院長は日本内科学会認定医・日本糖尿病学会専門医・日本医師会認定産業医でもある。非常に物腰の穏やかな方であり、素人にもわかりやすく今回のインタビューにこたえていただきました。

医療法人 社団 明清会  
山田記念病院

三原市宮浦6-2-1  
0848-67-4767

